

【推進方向】・【推進目標】の内容

(※)「成果目標」の[◎]は国の基本指針案で成果目標、[○]は個別施策の見直しとして示された事項です。

中期的な【推進方向】(障害者長期計画=6年間)		当面の【推進目標】(障害福祉計画・障害児福祉計画=3年間)	
推進体系	取り組みの方向と目標	成果目標	取り組みとして検討していく課題 (※)感染症対策に配慮して各取り組みを推進
1. 一人ひとりに寄り添う相談と権利擁護の推進	<ul style="list-style-type: none"> 本人やまわりの人などがニーズに気づき、的確な支援や主体的な活動などにつながるように、ライフステージを通じた生活に関するさまざまな情報をしっかり伝えます。 必要なときにきちんとつながり、本人の意思を尊重しながら自分らしい生活をおくるために、きめ細かく、的確に支援する相談支援のしくみを構築します。 弱い立場に置かれがちな人への差別や虐待を 방지、安心して暮らせるように支える包括的な権利擁護のしくみを構築し、一人ひとりの状況に応じた支援を推進します。 	① 多様な方法を活用した情報の発信と情報伝達の推進	<ul style="list-style-type: none"> ICTなども含めた多様な方法や機会を活用した、わかりやすく効果的な情報発信 情報を得にくい人、つながりにくい人などにも配慮した情報伝達の取り組み
		② 「包括的な支援」につながる相談支援体制の充実 [◎]	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターを核とした、他分野とも連携できる相談機関等のネットワークの充実 計画相談支援を含めた、多様なニーズに対応する相談支援体制の充実 ライフステージを通じた相談支援を行うための、関係機関等の情報共有と連携 自己決定を支援・尊重する相談支援の推進
		③ 権利をまもり、差別や虐待を防止する取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画と連動した、成年後見制度等が的確に利用できる拠点機能等の構築 差別解消協議会を活かした相談や解決に向けた取り組み 虐待の防止と早期発見・解決のための的確な支援の充実 障害のある人の権利擁護についての啓発・学習と、支援の担い手の養成
2. 多様な地域生活を支えるサービス等の充実	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしい生活を支えるために、障害の重度化・多様化や高齢化などによる新たなニーズや、制度の狭間などのニーズにも対応した障害福祉サービス等を推進します。 保健・医療・福祉や住まいの確保などを連動させ、地域での生活を包括的に支援するためのしくみづくりや取り組みを、高齢分野などとも連動させて推進します。 	④ 地域生活への移行に向けた支援の充実 [◎] <ul style="list-style-type: none"> 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 [◎] 地域生活支援(拠点)システムの機能の充実 [◎] 	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活への移行・定着の支援や、居住の場の確保などの取り組み 高齢分野等とも連動した、医療と福祉の連携による地域包括ケアのしくみづくり 緊急時の的確な対応のための相談・受け入れ体制(拠点)づくり、体験等の取り組み
		⑤ 多様なニーズに対応する生活支援サービスや活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 制度の狭間なども含めた、多様なニーズに対応する地域生活を支えるサービス・活動の提供 高齢障害者や“親亡き後”の支援に向けた取り組み 地域生活の基盤となる暮らしの場の確保への支援 生活困窮を含めた多様な自立生活の課題への包括的、伴走的な支援 サービス等を的確に利用するための情報提供や負担軽減等の取り組み 補助犬、介護ロボットやAIなどの新たな手法への理解と普及、利用者への支援
		⑥ 障害に配慮した健康づくりや医療の推進 [○]	<ul style="list-style-type: none"> 障害に応じた健康管理、健康づくりや疾病・二次障害の予防・リハビリテーション 障害に応じた医療の確保と、受診・入院への支援 依存症への理解と依存症の人や家族への支援 感染症予防の取り組み
3. ライフステージを通じた発達支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉や教育などの分野や、「公」と「民」の多様な主体が協働し、妊娠期・乳幼児期から学齢期、成人期へと継続して発達を支援する体制をつくります。 障害を早期に発見し、一人ひとりの状況やニーズに応じた療育や訓練を、さまざまところで継続して行う体制をつくります。 障害の有無にかかわらず、就学前から学齢期、成人期にかけて生涯にわたってともに学ぶための環境づくりや、一人ひとりの状況に応じた支援を推進します。 	⑦ 多様なニーズに対応する障害児や親への支援の充実 [◎]	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野や主体と連携した、多様なニーズに対応する継続的な発達支援体制の充実 児童発達支援センターを核とした、障害児相談を含めた相談支援体制の充実 発達障害や精神障害、医療的ケアなどの多様なニーズに対応した、療育体制の整備 障害のある親や多問題世帯などへの、子育て支援等の関連分野等とも連携した支援 ニーズに応じた放課後等の活動への支援
		⑧ 支援教育・高等教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 就学前の支援から継続したニーズに応じた支援教育と、地域の学校の教育環境の充実 高等学校卒業後の学びの場づくりや、大学等との連携による高等教育への支援
		⑨ 生涯学習・スポーツや文化芸術活動の推進 [○]	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習・スポーツ、文化芸術活動等への支援、活動の場・拠点の確保 障害者の参加に向けた合理的配慮の推進

中期的な【推進方向】（障害者長期計画＝6年間）		当面の【推進目標】（障害福祉計画・障害児福祉計画＝3年間）	
推進体系	取り組みの方向と目標	成果目標	取り組みとして検討していく課題（※）感染症対策に配慮して各取り組みを推進
4. 自己実現をめざす就労や社会参加の支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしい生活をおくるうえで多様な“思い”に基づく就労や社会参加ができるよう、選択できる場や障害に応じた環境づくり、踏み出すための支援などを推進します。 	⑩ 障害者雇用等の拡充と定着への支援の充実 [◎]	<ul style="list-style-type: none"> 企業等での就労に向けた準備や支援、実習等の支援の充実 企業や市などでの雇用の拡充、起業などによる就労の場づくりと支援 就労への定着を支えるための、生活面等を含めた継続的な支援の充実
		⑪ 福祉的就労や中間就労などの多様な就労の推進	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じた福祉的就労・中間就労や日中活動の場の確保と、支援の充実 優先調達等による工賃向上ややりがいのある仕事・活動づくりの取り組み 地域の状況をふまえた農福連携の取り組みの検討
		⑫ 多様な社会参加の場づくりと参加の支援 [○]	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動や社会的な活動等への支援、障害者の参加への合理的配慮 地域での多様な居場所や、参加・交流のきっかけづくり
5. 安心して心豊かに暮らせる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人もない人もみんなが理解しあい、尊重しあってふれあい、一人ひとりが“できること・したいこと”で気持ちよく支えあうまちをつくります。 一人ひとりの障害に配慮して移動やコミュニケーションなどのバリアをなくし、安全で快適に暮らせるまちをつくります。 「公」と「民」が力をあわせ、災害、犯罪、交通事故などから安全なだれもが安心して暮らせるまちと、いざというときに的確に支えあえるしくみをつくります。 	⑬ 「地域共生社会」への理解と主体的な参加の促進 [○]	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人を含むすべての人が共生する地域づくりへの理解に向けた啓発や学習 身近な地域での交流と、緊急時の支援も見据えた日常からの支えあい 地域福祉活動等への市民・当事者の参加のきっかけづくりと、活動につなぐ取り組み
		⑭ 合理的配慮の視点でのバリアフリーのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 差別解消の視点でのバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり 情報バリアフリーとコミュニケーションの支援の充実 公共交通や個別にニーズに応じたサービス等の連携による移動支援のしくみづくり
		⑮ 安全・安心して暮らせる防災・防犯・交通安全等の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じた災害時の情報伝達、避難支援のしくみづくりと、避難所・運営体制の整備 防災、防犯、交通安全の意識づくりと、被害を防止するための地域と連携した取り組み
6. 障害者支援のネットワークと担い手づくり	<ul style="list-style-type: none"> 障害者の生活に関わる多様な主体が協働し、それぞれの“強み”を活かした効果的な支援のしくみづくりや取り組みを、計画的に推進します。 さまざまな障害者支援の担い手を増やすとともに、自分らしい生活を支えるという視点で支援の質を高めていきます。 	⑯ 自立支援協議会を活かした障害者支援のネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の再構築と、効果的な取り組みの推進 「地域共生社会」をめざした、公民の枠や分野を超えた連携のしくみづくり
		⑰ 計画のPDCIを通じた全庁的な障害者支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 計画推進シートを活用した、庁内連絡会・自立支援協議会等を通じたPDCIの取り組み
		⑱ 障害者支援の多様な人材の確保と支援の質の向上 [◎]	<ul style="list-style-type: none"> 国・府とも連携した福祉の仕事への理解、就業環境や生産性の改善等による福祉人材の確保 事業者・従事者への継続的・実践的な研修による、意識やスキルを高める取り組み 第三者評価等も含む情報公開や利用者意見の反映などの取り組み